

第3学年 国語科学習指導案

指導者 熊本市立竜南中学校 中川 豪太

I 題材名 「猫」(三省堂)

II 題材について

1 題材観

本題材の「猫」はトーベ＝ヤンソン作、渡部翠訳の翻訳小説である。本題材には対照的な二匹の猫、マッペとスヴァンテが登場する。マッペは自分で餌を捕り、飼い主に媚びることなく、自分だけの力で生きていく猫として描かれている。一方、スヴァンテは飼い主に全面的に依存して生きている猫である。この二匹の猫の間で揺れ動く、主人公(主役)ソフィアの猫に対する心情とそれを支える愛に対する価値観が多様な文章表現で描写されている。

多感なこの時期の生徒たちは、ソフィアの心の成長に共感を覚えたり、あるいは違いを感じたりしながら、この小説の世界に引き込まれていく。また、二匹の猫を対比させたり、様々な視点から主役の心情に迫ったりすることで、中学校三年間で習得した言語技能を思い起こし、更なる習熟を図るのにも適した題材であると考えられる。

2 系統観

| 指導事項 | 本題材に関連する言語技能 | 1年 | | | | 2年 | | 3年 | |
|------|--------------|----|------------|-------------|------|-------|-------|----|----|
| | | 竜 | アイスキャンデー売り | 空中ブランコ乗りのキキ | トロッコ | 小さな手紙 | 走れメロス | 猫 | 故郷 |
| 表現の | 対比して読む | | | | | ◎ | ◎ | | |
| 仕方 | 主役と対役をとらえる | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 主題と | 象徴語を理解して読む | | | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 意見 | 人物の転換点に着目する | | | | ◎ | | | ○ | ○ |

3 生徒の実態

本学級は、男子18名、女子12名、合計30名で落ち着いた授業態度のある学級である。また、国語科の諸問題に対し真剣に取り組むこともできる。

以下は、本題材に関連する言語技能の習得状況について確認したテストの結果である。

○「走れメロス」(三省堂3年)において、メロスと暴君ディオニスの対立した考えを読み取ることができる。37%(11人)

○「竜」(三省堂1年)において、主役と対役をとらえることができる。23%(7人)

○「空中ブランコ乗りのキキ」(三省堂1年)において象徴語を理解して読むことができる。

*キキのことを別のことばで表現してあるが、それは何か。全て答えなさい。

白い大きな鳥 60%(18人) お魚 40%(12人) 白鳥 33%(10人)

白い魂 33%(10人) 花 33%(10人) むち 17%(5人)

ヒョウ 17%(5人)

○「トロッコ」(三省堂1年)において人物の転換点に着目することができる。

*良平が帰りたいと感じ始めたきっかけは何ですか。

解答例 広々と薄ら寒い海が開けているのを見たこと。60%(18人)

対比して読むことについては、二人の考えの違いに着目してとらえることができていなかった。本題材で二匹の猫を対比させたり事件前後の主役の心情の変化を対比させたりすることで繰り返し取り扱い、更なる習熟を図りたい。主役と対役をとらえることについては、対役の意味が分からないという生徒が多かった。本題材を学習するにあたり、第1次における全体の構成をとらえる段階で取り扱い想起させたい。象徴語を理解して読むことについてはある程度の習得が見られる。人物の転換点に着目するについては、半数以上が正答することができた。しかし、文と文の間や行間でも主役の心情が変化する可能性があるとして理解している生徒は少ない。第4次(本時)の個別指導をする際にその習熟を図りたい。

4 研究の視点にそった授業の工夫

(1) 視点①「学習目標を明確にし、目的意識を持って読ませる」について

生徒が目的意識を持って学習活動に臨むようにするために、学習目標には本題材に関する目標とそれを達成させるために取り扱う言語技能の二点を明確に提示する。

(2) 視点②「言語技能を習得する場面と、それを応用する場面を位置づける」について

学習内容を振り返る際には、学習した言語技能を運用する形でおこなう。特に「対比して読む」ことについては、第2次で二匹の猫を対比させ、第3次ではそれを応用した形で主役の心情を対比させる。

(3) 視点③「生徒自身が身についた言語技能を実感できる評価のあり方を工夫する」について

毎時間の評価は、無理なく分かりやすくおこなうために生徒のノートを活用する。特に「対比して読む」ことについては、対比表の完成度を評価の対象にし、生徒にとっても習得した言語技能の運用についての自己評価が分かりやすくできるようにする。また、単元のまとめをする際には、まとめシートを使い本題材で習得した四つの言語技能の評価をする。

III 学習指導の目標

文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。C-2, 3-エ
表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。C-2, 3-ウ

○二匹の猫を対比させ、それをもとにソフィアの生き方についての考えを深めさせる。

○ソフィアの心情の変化を対比させ、ソフィアの愛に対する価値観の成長をとらえさせる。

IV 指導と評価の計画（4時間取り扱い）

| 次時 | 学習活動 | 評価規準 | 評価方法 |
|-----------|--|---|------------|
| 1 1 | ★全文を通読し、物語の設定や登場人物（主役と対役）の役割を把握する。 | <関心・意欲・態度> ・習得した言語技能を読みに生かそうとしている。 | 観察シート |
| 2 1 | ★二匹の猫の特徴や象徴語を対比し、それぞれの生き方をとらえる。 | <読むこと> ・二匹の猫を対比させて、その特徴を読み取ることができる。 | ノートシート |
| 3 1 | ☆ソフィアの心情についての表現描写を対比し、その変化をとらえる。 | ・ソフィアの心情の変化を対比させることによって、愛に対する価値観の成長を読み取ることができる。 | 発表観察ノートシート |
| 4 1 本時 | ☆ソフィアの心情の転換点に着目したり、その前後の心情を対比したりして、愛に対する価値観の成長を読み取る。 | <言語事項> ・二匹の猫の象徴語やソフィアの心情を描写した語句を探することができる。 | ノート発表観察 |

V 本時の学習

1 目標

○ソフィアの心情の転換点に着目したり対比してきたことを利用したりすることによって、ソフィアの愛に対する価値観の成長を理解する。

2 評価

| 評価項目 | 具体的な評価規準 | つまづきへの手立て |
|----------------|--|---|
| 関心 意欲 態度 | ソフィアの心情を対比して、ソフィアの愛に対する価値観の成長に迫ろうとしている。 | 班活動において意見の交流をする場面をもうけ、自分の考えの参考にさせる。 |
| 読むこと | 1 今後のマップとの生活を、ソフィアの心情の変化を記述しながら書くことができる。 | ソフィアのマップに対する思いがどのように変化してきたのかを、対比表などを振り返りながら確認させる。 |
| | 2 ソフィアの愛に対する考えが変化したことが分かる。 | |

3 展開

★言語技能を身につける活動 ☆言語技能を生かす活動

| 過程 | 学習活動 | 時間 | 基本発問・指示 |
|---|------------------------------------|----|--|
| 導入 | 1 これまでの学習を振り返る。 | 3 | ○ソフィアのマップに対する思いはどのように変化していききましたか。対比表を見て振り返りましょう。 |
| | 2 本時の目標を知る。 | 2 | |
| <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 学習目標 主役ソフィアの心情の転換点に着目し、ソフィアの心の成長を読み取る。 </div> | | | |
| 展☆ 開 | 3 ソフィアの心情が最も変化した部分を読み取る。 | 15 | ○ソフィアの心情が最も大きく変化したと思う文に線を引きましょう。 |
| | 4 再び始まるソフィアとマップの生活がどのようになるかを文章で表す。 | 15 | ○ソフィアとマップは、この後うまく付き合っていけるとおもいますか。マップがソフィアの元に戻ってきたあとの物語を想像して書きましょう。 |
| ま と め | 5 ソフィアの「愛」に対する考えがどのように変化したかを考える。 | 10 | ○ソフィアのマップに対する愛は、どのような愛からどのような愛に変わりましたか。 |
| | 6 本題材を振り返りまとめをする。 | 5 | ○「猫」で学習したことのまとめを、学習シートに記入してください。 |

| 教師の支援 | 評価 (●は言語技能の評価)は評価の方法 | 備考 |
|--|---|--------------|
| <p>○ノートにまとめた対比表で確認させるようにする。</p> | | |
| <p>○登場人物の心情が変化する場所は、行間や文と文の間にもあることをおさえておくようにする。あわせて、主役の機能についても振りかえさせる。</p> <p>○P130, L2以降をじっくり読ませる時間を確保するようにする。</p> <p>○学習活動4へつなぐために、P131, L2を取り上げるようにする。</p> <p>○物語が飛躍しないように、うまく付き合っているかどうかを中心に書かせるようにする。</p> <p>○ソフィアの心情の変化を記述していない生徒に対しては、これまでの学習活動をノートで振り返らせ、それを確認させるようにする。</p> <p>○班で回覧させ、各班代表一人に発表させる。</p> | <p>●人物の転換点を読み取ることができたか。 (生徒の活動・発表の観察)</p> <p>○P131, L2を指摘することができたか。 (生徒の活動・発表の観察)</p> <p>○今後のソフィアとマップの生活をソフィアの心情の変化を記述して書くことができたか。 (ノート回収後の観察)</p> | |
| <p>○「()愛から()愛に変わった」と板書し、()の中に入ることばを考えさせるようにする。</p> <p>○発表で意見の交流をすることにより、多様な解釈があることに気づかせるようにする。</p> <p>○本題材に対する感想を、学習した言語技能と関連させながら記入させるようにする。</p> | <p>○()の中に入ることばを自分なりの解釈で考えることができたか。 (ノート回収後の観察)</p> <p>●マップとスヴァンテの対比や事件前後のソフィアの心情の対比を利用して考えることができたか。 (生徒の活動の観察)</p> <p>●小説を読む際の、言語技能の有用に気づくことができたか。 (シート回収後の観察)</p> | <p>学習シート</p> |